



看護の日公開講座&キャンパスツアー

近代看護の基礎を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日は「看護の日」に制定されました。12日を含む週の日曜日から土曜日までが「看護週間」です。

本校では看護週間の5月14日(土)に看護の日公開講座およびキャンパスツアーを開催いたしました。看護の日公開講座に105名、キャンパスツアーに168名のご参加をいただきました。

講演テーマ

「精神科へ行こう！
～予防と早期治療で笑顔をとりにもどすために～」
森 真喜子 精神看護学 教授



講演テーマ

「女性の健康」 唐田 順子 母性看護学 教授



参加者のご感想

- ・精神科は怖い、暗い、というイメージがあったし、自分とは違う世界だと思っていたが、まったくそんなことはなく、私も病気の人を支えられるようになりたいと思った。
- ・正しい知識のもと、共生できる社会になればいいと思いました。
- ・「看護できない患者はいない」という話はとても感銘を受けました。
- ・女性の健康について改めて考えさせられました。若いときにダイエットや不健康な生活をしていると自分から、生まれてくる子どもの病気のリスクが上がるなどとても勉強になりました。
- ・私は将来、助産師として日本の周産期医療にかかわっていきたいと考えています。本日の講演を通じてより強く、そう思うことができるようになりました。
- ・これから更年期を迎えるので、とても勉強になりました。

看護の日公開講座&キャンパスツアー

キャンパスツアーでは、教員の案内で、図書館、実習室、教室、情報処理室を見学しました。



国立看護大学校の概要説明



情報処理室



成人看護学実習室



図書館長が図書館の概要を説明しました。



階段教室では着席して学生の状況を体験していただきました。

参加者のご感想

- 大学校の設備はすごいと先輩から聞いていたので今日が楽しみでした。設備の質も数も他の大学にはないくらい高度で、ますますここで学びたいという気が強くなりました。
- とても広くてきれいで、よい環境で学べることがわかりよかったです。
- 充実した施設等を実際に見て回ることができ、学校生活のイメージがしっかりできました。こちらの学校に入りたいという気持ちがまた強くなりました。
- どの教室もきれいで、清潔感がありました。
- 集中治療室のモデルなど高度な設備が整っていて、色々な体験ができそうでいいと思いました。